

Vol.16 特集1.フードマイレージと地産地消  
 特集2.電気に頼りすぎない暮らし方

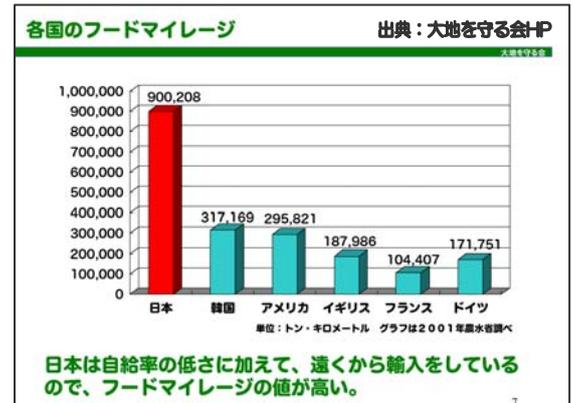
2012年2月3日発行

## 1. フードマイレージと地産地消

「フードマイレージ」という言葉をご存じですか？食糧の重量に輸送距離を掛け合わせた数値のことです。この数値が大きいほど輸送のために多くのエネルギーが使われ、その分多くのCO2が排出されるため地球温暖化を促進しているといわれています。先進国の中で食糧自給率が最も低く大量の食糧を世界中から輸入している日本は、フードマイレージが世界の中でも突出して高い国となっています。日本人の食生活のあり方が、地球環境に大きな負荷をかけていることとなります。外国産のものより国産のものを、国産の中でもできるだけ自分の住んでいる所の近くで生産されたものを選んで食べることは、地域の農業を元気にするだけでなく、省エネルギー、そして地球温暖化防止にも大いに役立つものなのです。

次ページには、外国産のものが使われることが多い食材をすべて地元産のものを使い「地産地消弁当」をつくった場合、どのくらいCO2の削減につながるかを示しました。これを参考に、地元の食材を少しでも多く購入するよう心がけていただければ幸いです。

また、当部会では、昨年11月12日～13日に中城グラウンドで開催された「JAJA フェスタ（JA 大分主催）」において地産地消・フードマイレージキャンペーンを行い、フードマイレージに関するアンケート調査を実施しました。以下はその集計結果です。



### フードマイレージアンケート結果

H23.11.12 ~ 13 JAJA フェスタ会場にて

質問項目	回答		
① フードマイレージを知っている	言葉も意味も知っている 9	言葉は聞いたことがある 6	全く知らない 36
② 地産地消を意識して買い物をしている	常に意識している 27	たまに意識している 17	全く意識したことがない 7
③ 地元商品を買うことが地球温暖化防止につながることを知っている	知っている 32	知らない 19	—

※ アンケート総数 51 件

内訳 男性 19 名 (20代:2名、30代:6名、40代:2名、50代:2名、60代:7名)

女性 32 名 (20代:1名、30代:13名、40代:6名、50代:5名、60代:7名)

日田市の素材でつくりました。

# フードマイル **ゼロ** 弁当

**がめ煮**  
里芋・ごぼう  
いんげん  
人参  
こんにゃく  
鶏肉(中津市)

**からあげ**  
鶏肉(中津市)

**卵焼き**  
卵

**天ぷら**  
えのき

**煮しめ**  
切干大根  
しいたけ・人参  
かぼちゃ

**つけあわせ**  
ミニトマト・さつまいも  
キャベツ・ふゆがらし

**イカの煮物**  
イカ(長崎県産)  
じゃがいも

**おひたし**  
ほうれん草・ゴマ

**酢の物**  
えのき・きゅうり・人参  
わかめ(国東町産)

**がめ煮**  
里芋・ごぼう  
いんげん  
人参  
こんにゃく  
鶏肉(中津市)

**ご飯**  
米

**漬物**  
大根・梅

**市内の素材を使うと輸送にかかるCO2が**圧縮**される。** 弁当提供まめろし

**例えば、この弁当の材料を海外を中心に調達するとー**

材料	調達産地	km	使用量	排出CO2量
こめ	新潟県	840	250g	35g
鶏肉	アメリカ/アーカンソー	12,045	65g	50.05g
にんにく	中国/山東省	1,200	30g	2.4g
じゃがいも	アメリカ/アイダホ	10,900	25g	17.25g
さつまいも	中国/山東省	1,200	20g	1.6g
かぼちゃ	ニュージーランド	10,000	15g	8.1g
こんにゃく	中国/重慶	2,300	15g	4.2g
卵	中国/天津	1,400	15g	1.05g
人参	中国/山東省	1,200	15g	1.2g
大根	中国/山東省	1,200	15g	1.2g
ほうれんそう	中国/山東省	1,200	15g	1.2g
さつまいも	中国/山東省	1,200	15g	1.2g
しいたけ	中国/福建省	2,200	10g	2.4g
えのき	中国/吉林省	1,600	10g	1.4g
ごぼう	中国/山東省	1,200	10g	0.8g
イカ	中国/浙江省	1,200	10g	0.9g
きゃべつ	中国/上海市	950	10g	0.4g
ミニトマト	アメリカ/フロリダ	13,000	5g	5.35g
わかめ	中国/東部沿岸	1,200	5g	0.05g
きゅうり	韓国全羅南道	450	5g	0.25g
うめ	中国/山間部	3,800	3g	1.62g
いんげん	中国/山東省	1,200	3g	0.24g
合計			566g	137.86g

**1個あたり**  
**137.86g**

のCO2が余分に排出されます。

1日1個食べると  
×365日= **50.32kg**  
のCO2が余分に排出

この排出量は  
**約22Lのガソリンを消費して排出されるCO2と同量**

CO2排出の計算には「大地を守る会」のfood-mileage.comのフードマイレージ電卓を活用しました。調達産地、距離や排出CO2はあくまでも目安です。

## 2. 電気に頼りすぎない暮らし方

### (1) 脱原発は脱オール電化から

福島第一原発の重大事故は深刻な放射能汚染を各地にもたらし、原子力に依存しながら大量の電力を湯水のように消費している現在の私たちの暮らしのあり方が根底から問われる事態となりました。危険な原発依存からの脱却を求める世論が高まりつつありますが、そのためにはまず、原発がもたらした過度の電力依存からの脱却が不可欠でしょう。国策として原発を積極的に推進してきた日本の電力化率（最終エネルギー消費に占める電力の割合）は26%



ですが、イギリスは20.6%、ドイツは19.2%、ヨーロッパ随一の原発大国フランスでも22.5%です。「何でも電気で」という風潮を見直し、電気でなくてもできるものは他の手段を用いるというエネルギーの適切な使い分けが必要です。電気一辺倒ではなく多様なエネルギー源を確保しておくことは、災害時の大規模停電に備える危機管理対策としても重要です。

### (2) 電気は便利だがムダの多いエネルギー

現在、9割以上の電力は火力発電か原子力発電（現時点では非常に少なくなっていますが）によってつくられています。これらはいずれも燃料が発する熱エネルギーで高温高圧の蒸気をつくってタービンを回転させて発電するというものです。この当初の熱エネルギーを100とした場合、電力に変換されて有効利用されるのは通常の発電方式では最大で40までとされており、60%もの熱はムダに捨てられているのです。電力化率を高めることは、発電に投入されてムダに捨てられるエネルギーを増やすということであり、社会全体のエネルギー効率を低下させてしまいます。電気というものは大変便利な反面、非常にムダが多く資源浪費的で環境負荷の高いエネルギーであり、それだけに無闇やたらに何にでも使うのではなく、照明、テレビ、パソコン、モーターの動力源など、電気でなければできない用途に限定して使うべきものなのです。

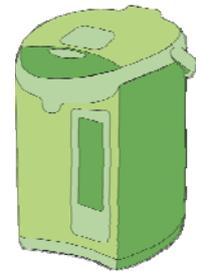


### (3) 節電の王道は電気の熱利用を減らすこと

加熱、給湯、冷暖房といった熱需要に対しては、電気を使うよりも石油やガスや太陽熱を使う方が結果的に CO2 の削減にもつながることは前号の「えねなび」でも述べたとおりです。大量の熱をムダにしてやっと得られた貴重な電力を再び熱に戻して使うよりは、燃料を燃やしてその熱を直接利用する方がずっとエネルギー効率が高いからです。

日本の電力会社が太陽光発電や風力発電といった出力変動の大きい不安定な自然エネルギー電力の大量導入に拒絶反応を示すのは、周波数や電圧などの変動がきわめて少なく安定した世界最高級ともいえる日本の電力の品質を損なうから、というのがその理由です。それほどまでに高品質の電気を使って灯油やガスでもやれるような低レベルの仕事をさせるのは、たとえば言うなら弁当箱を包むのにそこらの風呂敷かハンカチですむものを西陣織で包んでいるようなもので、実にもったいない使い方なのです。

そう考えるなら、1) 煮炊きをするなら IH クッキングヒーターよりもガスコンロの方が 2) お風呂をためるならエコキュートなどの電気温水器よりもガス湯沸かし器(さらにエコなのは太陽熱温水器)の方が 3) 焼き肉をするならホットプレートよりも鉄板を火にかける方が 4) お湯を沸かすなら電気ポットよりもやかんを火にかける方が 5) 電気冷暖房よりもガスや重油の冷暖房の方が 6) 電気ストーブよりも石油ストーブ(さらにエコなのは木質ペレットストーブ)の方が 7) 電気こたつよりも掘りこたつの方が 8) 電気毛布や電気あんかよりも湯たんぽや豆炭あんかの方が 9) 電気炊飯器よりもガス炊飯器の方が 理にかなったエネルギーの使い方だと言えるでしょう。全部をそうすることは無理だとしても、それぞれのご家庭で可能な範囲で脱電力化に取り組むことが望まれます。



電気でお湯を沸かす!?

一般に電気を熱源として利用する電化製品は消費電力が大きく、これをやめるか使用時間を減らすことは大きな節電効果があるのです。

### (4) 手仕事と自然の恵み

九州電力のホームページの「節電のお願い」の部分を見ると、「夕方のピーク時には掃除機ではなくモップやほうきを使ってみましょう」という記述があります。時には機械の力に頼らず人間の手を使うことは大切だと思います。洗濯機ではなくタライと洗濯板で汚れた服を洗うのも、たまには良いかもしれません。

食器洗い乾燥機や布団乾燥機などの普及が進んだアメリカは、エネルギー多消費型のライフスタイルが定着してしまっており、国民1人あたりの CO2 排出量は日本の約 2 倍です。屋外に洗濯物を干すのは乾燥機を買うお金がない貧しい家庭がすることで、どんなに外が晴れていても屋内で乾燥機を使って乾かすことがステイタスなのだそうです。食器や布団や洗濯物などは、機械の力を借りずにお日様の恵みをいただいて天然乾燥させることがベストであることは言うまでもありません。

昨年原発事故を一つのきっかけとして、私たちが本当に必要なことに対して電気を使っているのかどうかを、家庭の中で一つひとつ問い直すべきでしょう。